

【カリキュラムポリシー】

＜生活科学科＞

将来社会人として自立した生活を送ることができるように、それぞれのコースの中に演習の時間を設定し、各教科や実習に関して十分な成果を上げることができるようにしています。特に、それらの単位を卒業要件や資格取得要件とし、実学を重視した学びの機会としています。

＜生活科学科 生活科学専攻 生活文化コース＞

生活文化コースでは、一般企業、家庭、地域社会での高いキャリア性を身につけるために1年次からキャリア教育を充実したカリキュラム編成を行っています。その3本柱は①社会性の基本から応用への軌道としてのプレゼンテーション実習②社会性の体験としてのインターンシップ③社会的活動としての地域貢献プログラムです。

＜生活科学科 生活科学専攻 養護教諭コース＞

養護教諭コースでは、教員としての資質能力を養うとともに、今日的な子どもたちの健康課題に対応できる科学的な知識と技能に合わせて現場で実践できるように実践的な内容を充実したカリキュラム編成を行っています。特に演習では、1日教育参加として1年次の早期に学校現場での実習、野外教育実習などを取り入れ、現場の教師による講演なども取り入れ、養護教諭として大切なことは何かを学ぶ機会としています。また、養護教諭の職務に関する科目、学校保健・看護学・統計学など基礎的な科目を増やし教育内容の充実を図っています。

＜生活科学科 食物栄養専攻＞

食物栄養専攻では、現場で活躍できる栄養士の養成を目的としています。開講科目では、講義科目に加えて実習を重視しています。特に給食の運営に必要な能力を養うため、給食管理実習（校内）・（校外）のカリキュラムを設定しています。また、中学校家庭科教諭と栄養教諭の教職課程を設置し、教職専門科目及び教科専門科目において充実した科目を設定しています。

＜こども教育学科＞

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、保育者としての人間性及び指導力、コミュニケーション能力を修得するため、保育の基本、教育との関連、教育の基礎的概念、保育と養護、小児の心身の健康、心身の健康の増進と保持、衣・食・住・環境と健康、発育成長、親子の関係作り、親育ち、豊かな感性・表現力、こどもの文化等をカリキュラムに沿って実践を交えながら学習します。

こどもと触れ合う機会の殆どない学生のために、同じキャンパス内にある幼稚園で時間の許す限り、こども、保護者、先生方と接し、実際の保育の現場の観察ができるインターンシップの制度があります。また、授業の一環として実習の事前・事後指導、幼稚園、保育園における一日教育参加、野外環境と保育の関係を学び研究をすることを目的とする野外学習を実施しています。

＜こども教育学科 通信教育課程＞

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、保育者としての人間性及び指導力、コミュニケーション能力を修得するため、保育の基本、教育との関連、教育の基礎的概念、保育と養護、小児の心身の健康、心身の健康の増進と保持、衣・食・住・環境と健康、発育成長、親子の関係作り、親育ち、豊かな感性・表現力、こどもの文化等をカリキュラムに沿って実践を交えながら学習します。

＜ライフケア学科＞

基礎医学のみならず、社会のニーズに合った最新医学の知識を学び、自己研鑽に努めて社会貢献できる医療従事者の養成を視野に入れたカリキュラムの編成に努めています。以下に各専攻の目標を記します。

＜ライフケア学科 臨床検査専攻＞

高度化・複雑化する医療にともない、さまざまな医療職が連携して行なう「チーム医療」の一員として専門性を発揮できる臨床検査技師を目指したカリキュラム編成を行っています。

- ①国家試験受験資格を得るための指定規則に準拠し、1年次は基礎科目及び専門基礎科目を、2年次では専門科目と学内実習を、3年次は3ヶ月の臨地実習と国家試験対策総合演習を履修します。
- ②①の学習を通して専門的な知識や技術を身につけるとともに、医療に携わる者として必要な倫理観や豊かな人間性、コミュニケーション能力なども育成します。
- ③即戦力となる臨床検査技師を目指し、実践的教育を重視したカリキュラム編成をしています。

＜ライフケア学科 柔道整復専攻・柔道整復専攻（二部）＞

柔道整復専攻の教育目的を達成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムの編成・実施を行っています。

- ①人体の機能と構造に関することを学ぶことによって将来、その能力を幅広く活かせる基礎を作ります。
- ②身体に起こりうる疾病と傷害について知識を養い実践能力を発揮する基礎を作ります。
- ③整復技術・理念を学び臨床の場で発揮できる実習を行います。
- ④保健医療の専門的知識・技術を身につけることにより、身体機能を高める能力を習得します。

＜専攻科 こども教育学専攻＞

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、今まで培ってきた基盤の上に、保育者としての知識、人間性、指導力を更に深めるため、保育者として欠かせないこどもの発達段階、遊びの重要性、遊びと人間関係、現場で直面する病気と予防、保育環境、創造性と感性を育てます。また、実習に関する事前・事後指導のほかに、実習に行く際は、各自必ず課題を持って実習に参加します。その実習の集大成として課題研究を発表し、保育者としての自覚と自信を深めます。

＜専攻科 臨床工学専攻＞

現代医療は、チーム医療と呼ばれ一人の患者に対して複数の医療専門職が連携して治療やケアに当たる形態となっています。このような背景から医療スタッフには各専門領域を基本としつつもチームとして行動できる高度な能力を有する医療技術者の必要性が提起されています。そこで、本専攻は、さまざまなバックグラウンドを有して入学をしてくる学生に対し、現代の高度医療に必要な知識を身につけると同時にチーム医療を支える臨床工学技士を育成するカリキュラムを編成し、実施しています。

<専攻科 養護教諭専攻>

健康に関する高度の知識と技能及び養護教諭としての確かな実践力がつくように、専門科目の充実、演習や実習指導を通したきめ細かな指導、公立学校での教育実習、病院における臨床実習の充実を図ります。特に、実習においては養護教諭二種免許取得時の実習を踏まえた上で、より実践的な実習ができるようにします。

また、1年次から担任制による個別の研究指導を行い、養護教諭としての資質や専門性を高め、学士としてふさわしい実力をもった養護教諭の養成ができるようなカリキュラム編成をしています。